

# 第46回熊日学童オリンピック ソフトテニスに関わる

## 感染防止ガイドライン

熊本県ソフトテニス連盟・熊本日日新聞社

■大会開催予定日／2020年10月31日(土) ■会場／八代市テニスコート

### 1. 入場者の条件

- (1) 大会当日会場に入場する選手、大会役員、審判、補助役員、取材者は事前に名簿を大会本部へ提出する。
- (2) 原則無観客で行う。ただし、選手1家庭2人まで保護者の入場を認める。
- (3) 大会当日会場に入場する保護者は、選手の所属団体を通じて事前に名簿を提出する。
- (4) 観戦は拍手での応援を基本とする。大声を出さないようにし、メガホンや太鼓などの鳴り物を使用したり、まとまって応援したりすることは控える。

### 2. 体調管理

- (1) 選手は、大会開催2週間前(10月17日)から検温し、健康チェックシートに記入の上、大会本部へ提出する。
- (2) 役員、審判、補助役員、取材者、観客は、大会当日の体温を計り、健康チェックシートに記入の上、大会本部へ提出する。
- (3) 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があったり、極度のせき、倦怠感などの症状があった者については大会への参加を見送り、会場への入場を制限する。
- (4) 選手は、大会2週間後(11月14日)まで検温し、健康状態とともにチェックシートに記入する。その間、体調の著しい変化、発熱、嘔吐、倦怠感などの症状が見られた場合は、大会本部に健康チェックシートの提出とともにすみやかに連絡する。

### 3. マスク着用

- (1) すべての入場者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入場は認めない。
- (2) 選手は競技中または競技前の練習時を除きマスクを着用する。
- (3) 大会役員、審判、補助役員、取材者、保護者は常時マスクを着用する。
- (4) 選手が報道陣の取材を受ける際、写真撮影時に限ってはマスクを外すこと認める。

#### 4. 社会的距離の確保

- (1) 選手は競技中を除き、他の選手、指導者、審判、補助役員等と社会的距離を確保するよう努める。
- (2) ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- (3) 選手の更衣は特設の更衣スペースを利用する。ただし、密集状態を避けるために一度に大勢で利用しない。更衣スペースには係員を配置し、利用者は係員の指示に従って利用する。
- (4) 観客席の間隔については施設管理者の指示に従う。または主催者が間隔を空けるよう案内板を作成し、場内アナウンスなどで徹底する。
- (5) 保護者は基本、観客席の所定の位置で応援し、観客席以外の場所には立ち入らない。

#### 5. 消毒・衛生管理

- (1) すべての入場者はこまめな手洗い、手指消毒、うがいなどを励行する。
- (2) 主催者は、会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。
- (3) ボール、ラケットなどの用具類は各チームまたは各自で適宜消毒する。
- (4) 入場者がよく手に触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は主催者、施設管理者でこまめに消毒する。
- (5) 水分補給は各自で準備するなどして、コップを共用し回し飲みなど行わない。
- (6) 使用した机、椅子、掲示板などは、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで拭く。
- (7) 消毒作業中には目、鼻、口、傷口などに触れないようにし、換気を十分に行う。
- (8) ゴミ箱は設置せず、すべてのゴミは各自の責任で持ち帰る。

#### 6. その他

- (1) すべての入場者はマスク着用が原則。
- (2) 選手は大会出場に関する保護者の承諾書を、大会本部に事前に提出する。
- (3) 大会前に関係者（選手、指導者、役員）から感染者または濃厚接触者が発生した場合、主催者は大会の継続もしくは中止を検討する。